

# 大学図書館における学習 教育支援サービス

三浦 逸雄

東京大学大学院教育学研究科

## 1. はじめに

国際化、市場化、情報化、少子・高齢化といった社会構造の変化のなかで、国立、公立、私立を問わず大学を取り巻く社会環境は一段と厳しさを増している。例えば、18歳人口の減少により大学受験者の絶対数の減少に伴う大学間競争の激化、入学者数の減少傾向による経営条件の悪化、国立大学法人化や21世紀COEプログラム等の高等教育政策による研究教育資金の競争的配分と新たな序列化、大学生の学力低下に対する社会的関心と大学教育への批判、長引く景気低迷による若年層の就職難など、数多くの要因が挙げられる。

こうした社会環境の中で、1990年代から我が国の高等教育システムに「構造変動」が起きている。高等教育改革の推進にあたって、国の政策レベルで大きな役割を果たしてきたのは1987年に設置された大学審議会による一連の報告・答申であり、現在でも大学審議会の後を受けた中央審議会大学分科会で知識基盤社会における高等教育の将来構想（グランドデザイン）が審議されている。また個々の大学レベルにおいても、1991年の大学設置基準の改正（いわゆる「大綱化」）がひとつの契機となって、教養部・課程の改廃が進められ、それに続いて学部・学科の改組・新設、カリキュラムや入試の改革、FDプログラムの導入、教授法の改革など実にさまざまな改革が試みられ、現在も進行中である。このように90年代から始まった大学改革は、研究、教育、経営などの面で進められてきたが、その中心は教育機能の質的向上を目指す「学士課程」教育の改革といっても過言でない。

こうした改革の取り組みが進むなかで、大学図書館は大学の教育研究にどのような貢献ができるのか、いまその理念と役割が問われている。とりわけ急速な進展を見せているデジタル情報環境下における大学図書館の将来を見据えて、教育・学習活動に大学図書館がいかなる支援サービスを提供することができるかが重要な課題になっている。

## 2. 高等教育の現状

### 2.1 国際比較における日本の高等教育

- ・ 高等教育の国際比較：学生数 / 進学率 / 設置者別在学状況 / 学生一人当たり教育支出 / 国の高等教育支出 / 就学形態別在学状況

### 2.2 高等教育の大衆化

- ・ 大学進学率が18歳人口の50パーセントに近づき、わが国の高等教育はマス段階からユニバーサル段階（マーチン・トロウ）を迎えつつある。
- ・ 高等教育のユニバーサル化により多様な学生が高等教育機関に進学するようになり、学力低下など教育面でさまざまな問題が生じ、大学はそれに対応するために教育改革を迫られている。

- ・中等教育ならびに大学教育の現状に対する批判
- ・大学生の学力低下批判

### 3. 90年代以降の高等教育政策と大学改革

#### 3.1 高等教育政策の展開

- ・1987年に臨時教育審議会の答申を受けて設置された大学審議会(2001年から中教審大学分科会)の一連の答申等による大学改革の取り組み： 教育研究の高度化、高等教育の個性化、組織運営の活性化
- ・大学審議会答申の集大成「21世紀の大学像と今後の改革について」(1998年)の意義：「課題探求能力の育成」と「教養教育の重視」
- ・文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」、「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」、「海外先進教育研究実践プログラム」

#### 3.2 大学における教育改革の取り組み

- ・教育機能の強化(教育内容、教育方法) 大学院の多様化、履修形態の多様化、生涯学習事業、情報化推進、大学評価

#### 3.3 大学の使命再考

- ・アメリカ型大学(19世紀後半に形成): 教養(Liberal Culture)、研究(Research)、社会的効用(Utility)の三位一体
- ・高等教育機関の類型(カーネギー分類)  
(<http://www.carnegiefoundation.org/Classification/>)
- ・日本型大学: 目的の未分化、教員の意識、研究重視と教育重視

### 4. 大学図書館の学習・教育支援機能

#### 4.1 米国大学図書館における学習・教育支援

- ・学部学生用図書館(undergraduate library)の沿革
- ・独立の学部学生用図書館の設置: ハーバード大学ラモント図書館(1949年)
- ・teaching library 概念: ミシガン大学学部学生用図書館(1958)
- ・1960年代の拡大期を通して70年代前半にピーク、その後の停滞
- ・ライブラリー・カレッジの構想と実践
- ・1930年代にルイス・ショアーズの提唱。
- ・1960年代にパトリシア・ナップのMonteith College Library Experiment。
- ・1970年代、80年代のteaching libraryの動向(Carla Stoffle)

#### 4.2 我が国における学習・教育支援サービスの実態

- ・『大学改革と大学図書館の学習・教育支援機能 - アンケート調査結果 - 』  
(<http://www.cl.aoyama.ac.jp/~tnozue/ugl/>)に基づく実態と課題

## 5. 新しい学習・教育環境における図書館サービス

### 5.1 多様な学習機会・新しい学習モデル

- ・学習革命：遠隔学習・eラーニング
- ・高等教育のビジネスモデル：バーチャル・ユニバーシティ  
Western Governors University(<http://www.wgu.edu>)
- ・バーチャル・ライブラリー  
Questia(<http://www.questia.com>), eBook(<http://netlibrary.org>)
- ・新しい学習環境モデル
- ・Learning Community Commons(<http://learningcommons.evergreen.edu>)

### 5.2 学習・教育支援サービスの可能性

- ・ハーバード大学のゲートウェイ・ライブラリー構想
- ・「場所」としての図書館（快適な読書・学習空間）  
例：コーネル大学図書館
- ・teaching libraryの新しいモデル  
例：カリフォルニア大学バークレー校図書館  
(<http://www.lib.berkeley.edu/TeachingLib/>)
- ・学習センター構想  
例：アリゾナ大学 Integrated Learning Center(ILC)モデル  
(<http://www.ilc.arizona.edu>)

## 6. おわりに

米国の大学図書館で展開されている学習・支援サービスの様々な試みが、我が国でも可能かどうかは条件の違いがあり難しい問題であるが、現在進行中の教育改革を好機と捉え、大学図書館は学習・教育活動の支援に積極的に取り組むべきであろう。そのための重要なポイントは大学内外の関係部門とのコラボレーション/パートナーシップの構築である。大学内の教員や情報技術者、さらには学習・教育にかかわる専門家とのネットワークの構築であり、授業の場などを通してのコラボレーションの実現であろう。大学外では民間・公共を含め情報技術・資源にかかわる関係者とのネットワークを築く必要がある。例えば、大学における一般（教養）教育についての深いつながりをもつ後期中等教育（高校）における教員や学校図書館との連携、また生涯学習という視点から公立図書館との連携にも関心を向ける必要がある。

### <参考文献>

- ・天野郁夫著 『日本の高等教育システム：変革と創造』東京大学出版会 2003年
- ・有本 章・山本眞一編 『大学改革の現在』（講座「21世紀の大学・高等教育を考える」第1巻）東信堂 2003年
- ・絹川正吉・館 昭編 『学士課程教育の改革』（講座「21世紀の大学・高等教育を考える」第3巻）東信堂 2004年
- ・高等教育研究会編 『大学審議会全二十八答申・報告集 - 大学審議会十四年の活動の軌跡と大

学改革 - 』ぎょうせい 2002年

- ・「高等教育ユニバーサル化の衝撃〔II〕」『高等教育研究紀要』(高等教育研究所)第18号  
2003年3月
- ・文部科学省編 『平成15年度 文部科学白書 創造的活力に富んだ知識基盤社会を支える高等教育 高等教育改革の新展開 』
- ・村上泰子 “ライブラリー・カレッジの現代的意義”『日本図書館学会年報』Vol.39, No.2, June 1993, p.47-54.)
- ・B.L.ホーキンス・P.バツティン編 『デジタル時代の大学と図書館 - 21世紀における学術情報資源マネジメント』玉川大学出版部 2002年
- ・吉田 文著 『アメリカ高等教育におけるeラーニング』東京電気大学出版部 2003年
- ・Dowler, Lawrence, ed., Gateway to Knowledge: The Role of Academic Libraries in Teaching, Learning, and Research. MIT Press, 1997
- ・Lynch, Beverly P., ed., Information Technology and the Remaking of the University Library. Jossey-Bass Publishing, 1995.
- ・Oblinger, D. G./Rush, S. C., eds., The Learning Revolution: The Challenge of Information Technology in the Academy. Anker Publishing, 1997.
- ・Raspa, Dick/Ward, Dane, , ed. The Collaborative Imperative: Librarians and Faculty working Together in the Information Universe. Association of College and Research Libraries, 2000
- ・Stoffle, C. J., Gusikin, A. E. and Boisse, J. A. “Teaching, Research, and Service: The Academic Library’s Role,” in Increasing the Teaching Role of Academic Libraries. Ed, by T. G. Kirk. Jossey-Bass, 1984